

柴谷方良教授 講演会

- 【日 時】 2014年11月7日（金）17:30～19:10
- 【会 場】 東京外国語大学 研究講義棟2階227大講義室
- 【題 目】 「関係節再考」“Rethinking Relative Clauses”
- 【講演者】 柴谷方良先生（ライス大学教授・神戸大学名誉教授）
-

【講演者略歴】

専門：言語類型論、日本語を中心とするアジアの言語、オーストロネシア諸語
略歴：1973年カリフォルニア大学バークレー校修了 (PhD in Linguistics)。南カリフォルニア大学准教授、神戸大学教養学部助教授、同大学文学部助教授、教授を経て、2002年よりアメリカ合衆国ライス大学言語学科教授。現在、国立国語研究所客員教授。神戸大学名誉教授。

【講演内容】

関係節構文に関する研究は、受動構文とともに、過去半世紀にわたって生成文法ならびに言語類型論の発展に大きく寄与してきた。本研究は、これら二つの理論的枠組みにおける関係節の取り扱いについて、体言化 (nominalization) の観点から見直し、従来の研究が前提とする中心的基本概念のいくつかに誤りがあることを指摘し、関係節構文についての新しい見解を提示する。

【主催】 東京外国語大学言語文化学部言語・情報コース

【後援】 東京外国語大学語学研究所

事前登録不要・入場無料 ふるってご参加ください。